



中学生・高校生・大学生サッカー選手における 崟径部周囲の疼痛に関する調査

村上憲治¹⁾, 下井俊典¹⁾²⁾, 丸山仁司¹⁾²⁾

1) 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所
2) 国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科

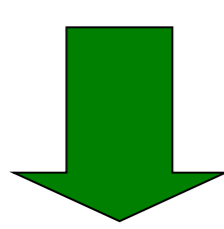
目的

崟径部周囲の疼痛(以下, 崟径部痛)

- キック動作を多用する競技に多く発症する。
(キック動作の反復ストレスにより発症する)
- 発症には, 下肢・体幹機能障害が関与している。
- 器質的疾患を有さない場合が多く、原因が不明確。
- 治療が長期化する。

+

中学生・高校生・大学生(=成長期)のスポーツ活動は、
さまざまな障害が発症し問題となることが多い。



- サッカー競技における成長期(中学生、高校生、大学生)
サッカー部員に対し、崟径部痛の実態を調査した。

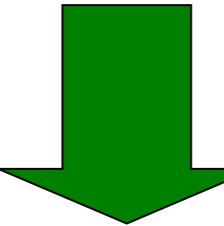
方法

T県及びT県近隣のサッカー一部所属男子学生497名に独自に
作成した調査用紙を配布。

(研究に対する説明および個人情報保護に対する誓約を、口頭および書面にて行い、
さらに研究に対する 同意を書面により得た。)

- ・内訳: 中学校4校, 高校5校, 大学4校
- ・調査期間: 2008年9月~11月

質問内容: 基礎情報 1)身長・体重, 2)競技歴, 3)利き脚等
発症情報 1)発症の有無, 2)発症時のポジション, 3)発症時期,
4)発症部位, 5)誘発動作 等



■409名回答(中学107名, 高校149名, 大学153名:回答率81.5%)

方法2(分類と統計処理)

◆発症率, ポジション別の発症率をそれぞれ検証した

- ・カテゴリー別: 中学生, 高校生, 大学生
- ・ポジション別: GK/ゴールキーパー, DF/ディフェンダー, MF/ミッドフィルダー
FW/フォワード (ポジションにより L/左サイド, C/中央, R/右サイド)

◆統計学的検定方法

- ・発症率: χ^2 乗独立性の検定
- ・ポジション別発症率: χ^2 乗適合性の検定

それぞれ有意水準は5%未満とした。

結果

◆回答者情報

	人数	平均年齢	平均競技歴
中学生	107名	13.1±0.7歳	4.7±2.4年
高校生	149名	16.4±0.9歳	7.8±2.4年
大学生	153名	20.2±1.4歳	12.2±2.9年

◆発症率(有効回答数:407名)

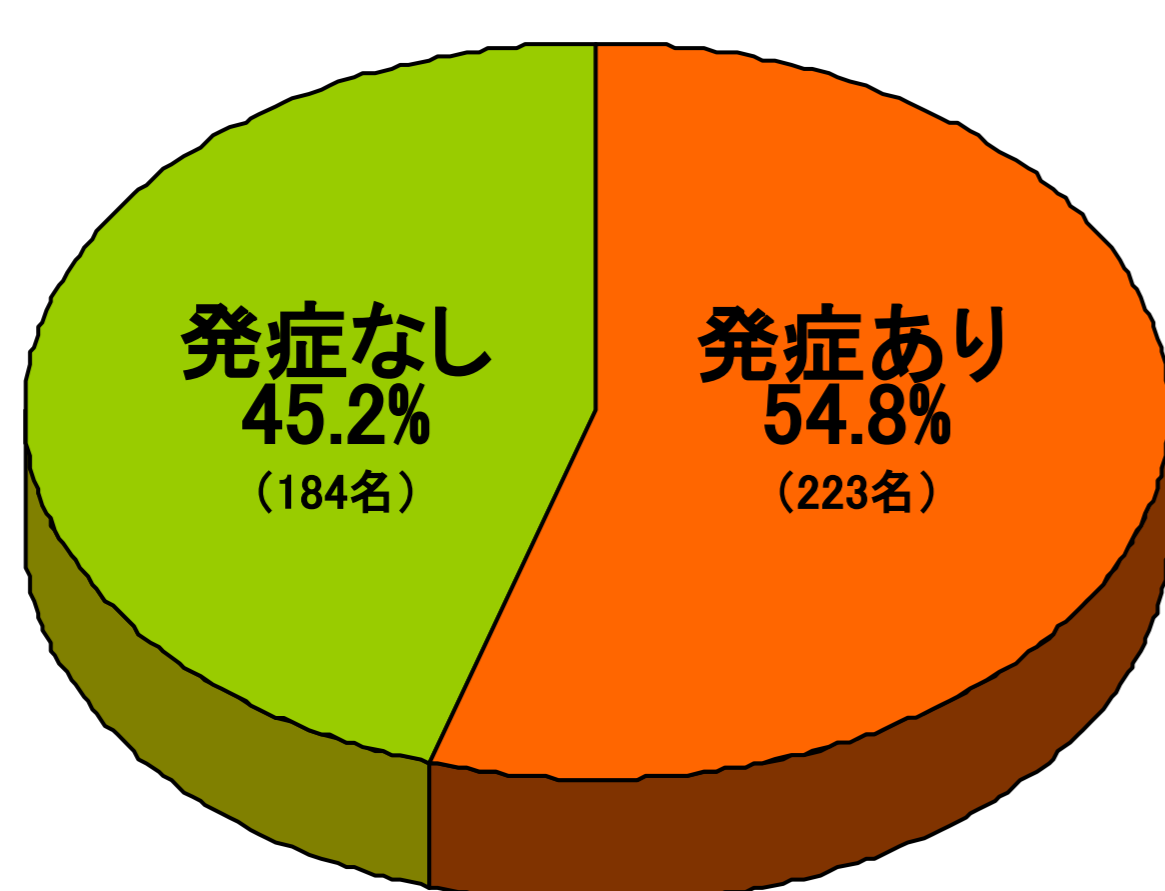


Fig1. 全体発症率

* 崟径部痛の発症率: 54.8%

◆発症者のポジション別割合(重複回答:有効回答数214)

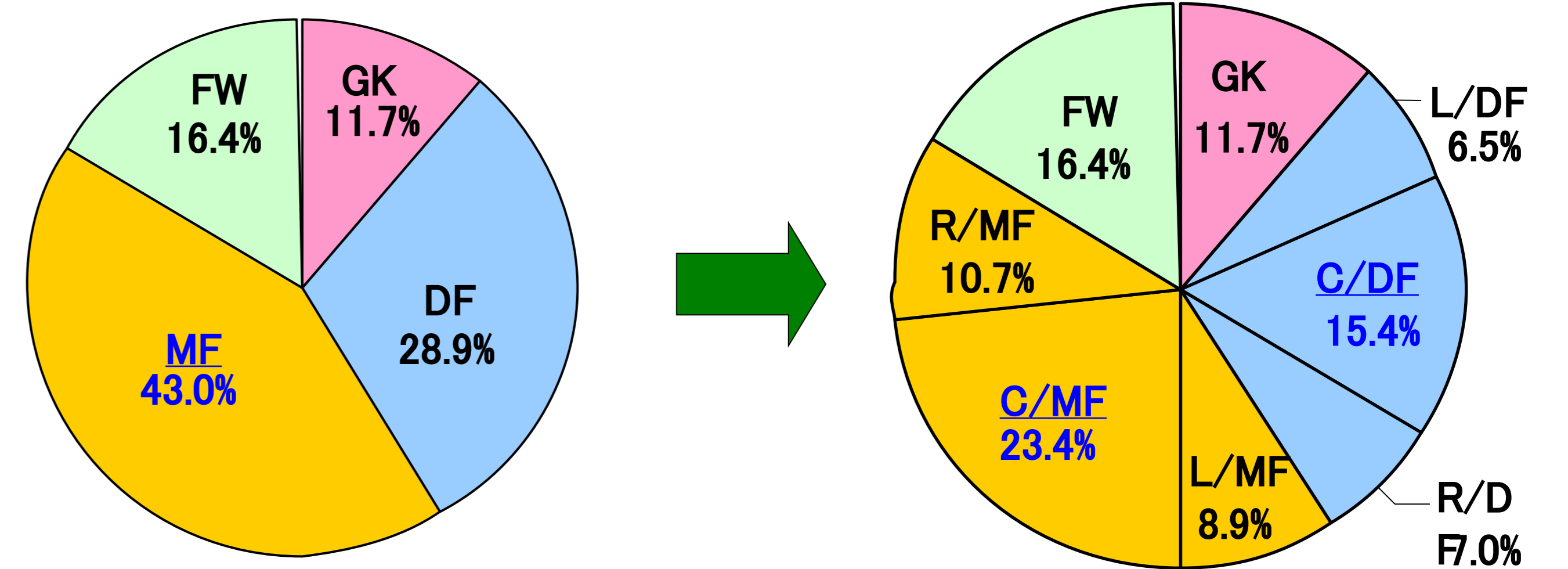


Fig II-1. 発症時ポジション別割合
大分類

Fig II-2. 発症時ポジション別割合
小分類

* ポジションごとの発症に有意な偏りがある P<0.01

◆発症時ポジションと現在のポジションの相違(重複回答:有効回答数210)

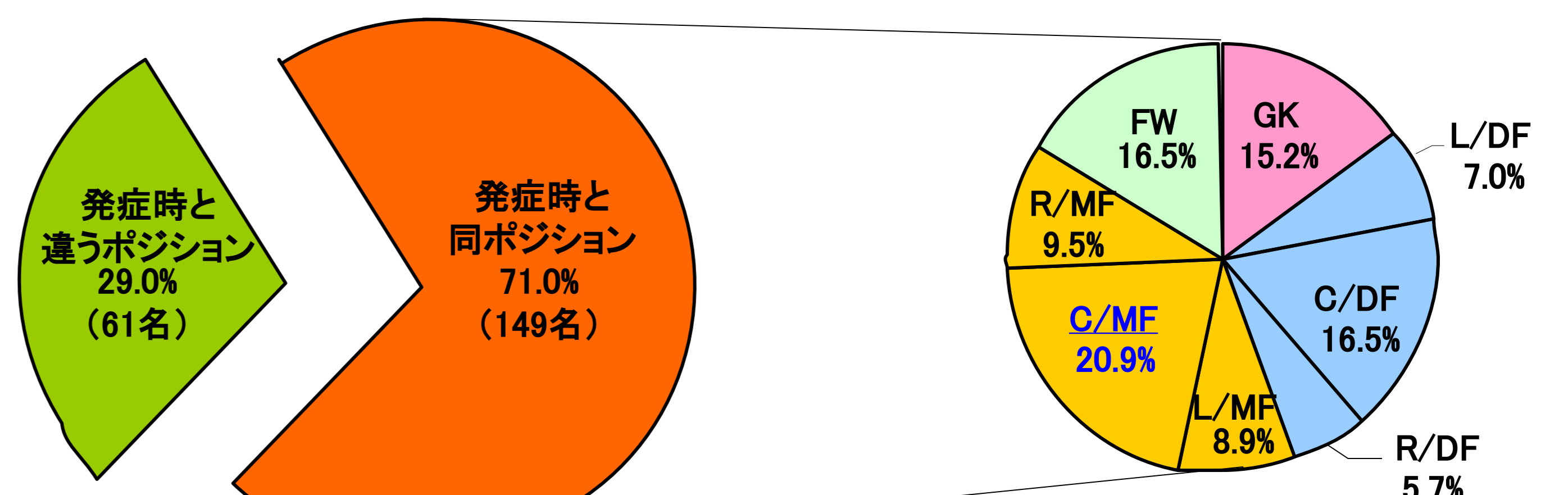


Fig III-1. 発症時ポジション-現在のポジションの相違

Fig III-2. 同一ポジションでの発症率

* ポジションごとの発症に有意な偏りがある P<0.01

◆ポジション別の発症者の割合

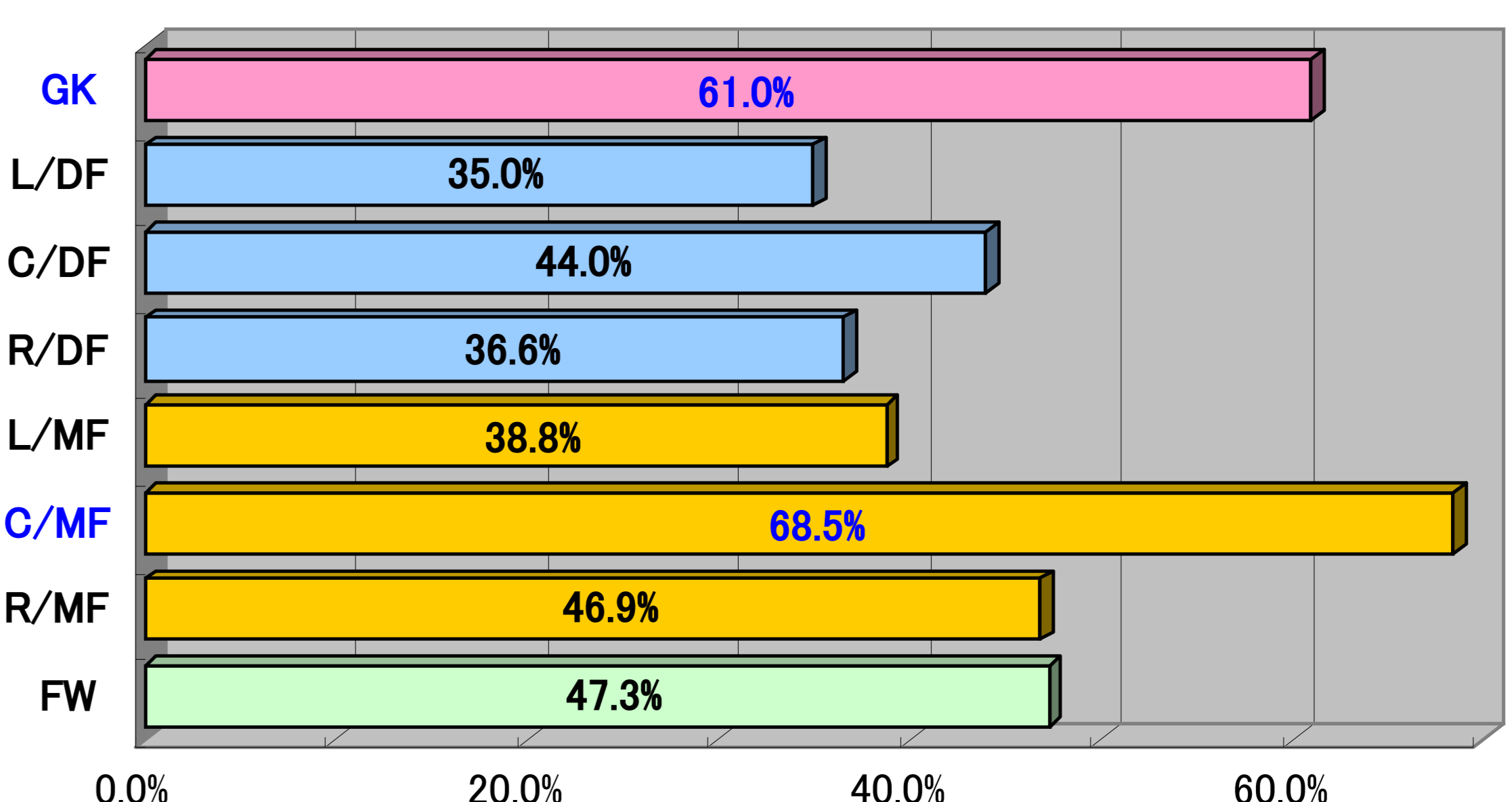


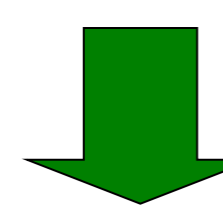
Fig IV. 総数(407名)に対する各ポジション別の発症者(214名)割合

考察

✓先行研究では, 崟径部痛(崟径ヘルニア, 恥骨結合炎, 恥骨疲労骨折などを含む)の発症率は5~10%と報告されている。

P Holmich, L Holmich, A Bjerg, 2004

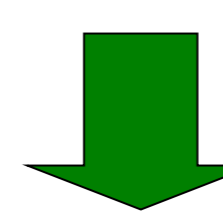
✓今回の調査で, 成長期(中学生・高校生・大学生)サッカー選手の
半数以上が, 崟径部痛を発症している。



先行研究での発症率は, 医療機関等受診により確認されたものとする。
しかし, 今回の調査では, フィールドワークにより得られた結果であり,
潜在的に崟径部痛を有している選手が多いことがいえる。

✓発症時のポジションでは, C/MFの発症頻度が多かった。

✓全体的傾向としてGK, C/DF, C/MF, FWなどフィールドの中央域で
プレーする選手の発症頻度が多い傾向が認められた。



崟径部痛は, キック動作の反復ストレスにより発症するといわれている。
今回の結果より, これらのポジションは他のポジションより, キック動作の
反復ストレスが多い傾向にあると考える。

C Cetin, U Sekir, Y Yildiz, T Aydin, F Ors, T A Kalyon 2004

* 今後は, ポジションごとのキック動作のストレスの検証や,
キック動作の特徴も検討していく必要があると考える。

